

社会資本整備審議会道路分科会 第4回東北地方小委員会
【議事概要】

1. 日 時

平成23年 9月21日（水）10:00～12:30

2. 場 所

東北地方整備局 二日町庁舎 2階 大会議室

3. 出席者

〈委 員〉

大滝精一委員長、大泉太由子委員、奥村誠委員、坂本敏昭委員、南正昭委員

4. 議 事

- 1) 三陸沿岸道路等に関するルート決定の経緯等について
- 2) 防災機能の評価手法について
- 3) 新規事業採択維持評価
 - ・三陸沿岸道路（登米～釜石）
 - ・三陸沿岸道路（釜石～宮古）
 - ・三陸沿岸道路（宮古～八戸）
 - ・東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）
 - ・東北中央自動車道（相馬～霊山）
 - ・宮古盛岡横断道路（宮古～盛岡）
- 4) 計画段階評価
 - ・日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）（1回目）

5. 議事概要

【三陸沿岸道路等に関するルート決定の経緯等について】

- ・コンパクトICはコストに優れても、従来に比べて分合流が困難になる。
- ・横断構成は震災を踏まえて幅員を余計に確保する等も検討した方がよい。
- ・避難階段等は市町村の防災マップや県の津波シミュレーション等を踏まえた設置計画となっているのか。
- ・概ねのルートとIC位置が決定ということだが、今後変更の可能性等はあるのか。

【防災機能の評価手法について】

- ・評価手法の内容を詰めていくには時間がかかると思うがどの段階で暫定がとれるのか目途はあるのか
- ・一般化に向けては検討事項は多々あると思われる。
- ・地域によって事情は異なるので、例えば一律に迂回路の迂回率は1.5未満等と決めずに柔軟に評価できるようにしてほしい

- ・三陸沿岸道路等をはじめとして実際に防災面の評価を行い、不具合が生じた場合はブラッシュアップが必要。

【新規事業採択時評価】

- ・弱点度の∞や数値など、国民に示すにあたり定義を明記した方がよい。
- ・鉄道が壊滅的な被害を受け、日常の足が途絶えた事例もあるため、その代替性の評価も必要と思われる。
- ・震災を踏まえ、新しい道路の役割や機能が見えてきた感じがするので、評価に加えることも必要と思われる。
- ・広域的に地域経済に与える効果を具体的に表現できると説得力がある。
- ・B/Cは個別と全体で算出されているが、数値が高いところからの整備議論になることも考えられる。一連で整備することで効果があることを明確に示した方がよい。
- ・医療施設の選択肢が増えることも、評価としては難しいが重要なことと考える。
- ・産業拠点間での評価が多いが、整備後5年後10年後を考えると観光拠点間での評価も重要だと思う
- ・将来を考え、防災拠点間を結ぶネットワークという考え方もあるのではないか。
- ・評価手法はまだブラッシュアップが必要である。
- ・新規事業化については妥当である。

【計画段階評価 日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）】

- ・地すべりや湧水、環境にも配慮した案になっているか。
- ・日本海沿岸東北自動車道の広域的な役割など、日本の国土軸として重要であるという点を示すべき
- ・意見を踏まえた上で意見聴取を進めることを了承する。